

「スタッフとともにつくる未来型歯科医院のデザイン」

矯正・小児ひまわり歯科(宮崎県宮崎市) 院長 柿崎陽介



略歴

1993年 長崎大学歯学部卒業
長崎大学歯学部附属病院矯正歯科勤務
1999年 宮崎市にて矯正・小児ひまわり歯科開業
現在に至る

歯学博士

日本小児歯科学会会員
日本矯正歯科学会認定医
宮崎市郡歯科医師会 公衆衛生担当理事
宮崎県歯科保健推進協議会乳幼児期・学童期部会会長

小児歯科では、以前より予防管理の重要性が認識されており定期管理型歯科医院の体制が組まれているところも多い。そしてこの定期管理型を支えるのは歯科衛生士やその他のスタッフであり、スタッフにどう動いてもらうかが医院運営の鍵を握る。

矯正・小児ひまわり歯科に見学に来られた方にお褒めいただくのは、スタッフの動きの良さ、笑顔である。当院では朝の準備、朝礼、毎日毎月の目標設定、診療、医院運営や院外公衆衛生活動などの仕事のほとんどをスタッフがチームを組んでおこなっており、チームリーダー(委員長)が中心となって運営している。チームリーダーは、毎月の打ち合わせ(委員会)の日程調整、委員会の司会、事業内容の報告、連絡、進行状況の確認等を行い、権限と責任を持って任にあたる(もちろん院長もチームリーダーの意見を最大限尊重)。それぞれが責任ある立場で仕事にむかい、お互いをフォローすることができれば、高いモチベーションを持った集団になり得ると考えている。もちろん(自分自身も含めて)高いモチベーションを維持することはとてもむずかしい。それぞれにバイオリズムがあり、プライベートも含めて調子のいいとき悪いときがある。モチベーションを維持、継続できるシステムが重要である。

将来的にどういう歯科医院にしていけばよいのか?

モチベーションの高いスタッフがつくる定期管理型の歯科医院こそ、来院される方々の健康を支援できる歯科医院であり、きっと地域に受け入れてもらえるものと思います。

スタッフとともにつくる(ほぼスタッフがつくりますが)、女と男をともに活かすシステムづくり。これが予防を軸にした未来型歯科医院のデザインであると考えます。

甚だ僭越ではありますが、今回は当院で行っているスタッフ主体のシステムをご紹介します、みなさまからご意見を伺いたいと思います。